教育旅行特集

県内高校生をアメリカ・モンタナ州に派遣

さまざまな体験を通してグローバル人材の育成　熊本県

熊本県は姉妹提携を結んでいる米国モンタナ州との共同事業で毎夏、県内の高校生20～30名を現地へ派遣。語学研修やアクティビティを通して生徒の英語力と国際感覚を養っている。県独自の基金を活用し広く高校生に海外研修のチャンスを与える産官一体の取り組みだ。派遣の前後で外部英語検定試験を行い、事業成果の検証にも努めている。8月27日に県庁で開かれた事後研修会では生徒が英語によるプレゼンテーションを披露。異文化の中で得た感動を関係者に伝えた。

事後研修会での英語プレゼンテーションの様子

プレゼンは質疑も英語で

「アメリカでは挨拶が絶えない。朝、人と人が出会うと必ず“Good morning!”と言葉を交わす」「大学の施設で開かれたダンスパーティが楽しかった。単に踊るだけではなく友達を作ることが目的だとわかった」「日本では相手に何かをしてもらうと〝すみません〟と言うが、アメリカでは感謝の気持ちをまっすぐに伝える。そして“You are welcome”と返すのを覚えた」

この夏、アメリカ北西部のモンタナ州に派遣された高校生たちは帰国報告を兼ねて開かれた事後研修会の場で、堂々と英語のプレゼンテーションを行った。これは現地での語学研修プログラムで出された課題で、実際に発表した内容を再現したもの。生徒同士の質疑応答も英語でおこなわれ、参加した保護者や地元企業の担当者は生徒たちの流暢なやりとりに感心していた。

この「熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業」は平成25年度にスタートした。グローバル人材育成のため県内から希望する高校生を選抜、姉妹関係にある米国モンタナ州にある州立モンタナ大学に派遣し集中的な語学研修をおこなう。同時に異文化にふれてグローバル感覚を養う狙いもある。

18日間の滞在費を県内企業が後押し

研修期間は7月下旬に熊本を出発し8月9日に帰国する18日間。宿泊は大学寮で朝9時から午後3時までは大学附属の語学学校で研修、週末には州北部にあるグレーシャー国立公園での野外活動、最終日には現地学生との交流会も。渡航前には地元の英会話学校が事前研修を担当するなど県が英語力向上のための環境を全面的に整備する。

渡航費と現地滞在費・研修費の各半額は県が補助負担する。昨年度から市町村民税の所得割が非課税の世帯の生徒は5名を上限に4分の3を県が補助する仕組みを設けた。

「家庭の経済状況により生徒が海外で学ぶチャンスを断念しない県の方針」と、県教育庁教育指導局高校教育課の荒木博之指導主事は話す。

これらの事業予算は官民出資の「熊本県世界チャレンジ支援基金」が充てられる。未来の熊本を担う人材育成のために創設されたもので、県内企業からの寄付を募り若者を応援できる仕組み。帰国後の生徒発表の場には企業担当者が参加するなど助成先との連携の意識も高い。

外部検定試験で効果測定

研修の効果を測るため、渡米前後に世界60か国で使われている外部検定試験TOEFL Junior® Standardを活用し、英語によるコミュニケーション能力を測定、結果を関係者に示している。多くの生徒が帰国後にスコアが伸びるという。

生徒たちも「行く前より英語が聞き取れるようになった。リスニングができたと感じた」「単語の意味がわからなくても問題を推測しながら読めるようになった」などと話している。

「発表を聞いて生徒の成長を感じた」と高校教育課の荒木博之指導主事

引率にあたった県立芦北高校の中川正利教頭は、生徒の変化として「英語でその場で受け答えをする力が伸びた。知っている単語で何とか返事をしようとする姿勢が育った。研修中は失敗もあっただろうが帰国後、経験を振りかえることで自信がついたのでは」と話す。

同時期に研修に来ていた他国の高校生との交流が深められたのも収穫だった。「母国語がちがっても英語を話せれば意思疎通できると発見した生徒は多かった。グローバル時代に必要なコミュニケーションを経験できたのでは」。

進路選択に海外を

同事業は今では県内のさまざまな高校の生徒から募集があり、認知度は年々高まっているという。

「多くの生徒が帰国後、授業を一生懸命聞くようになったり、ALTと積極的に話すようになる。この経験が海外への長期留学などさらなる夢につながっていってほしい。進路選択に海外が含まれるようになることが本事業の狙いのひとつ。今日も生徒の発表を聞いてすでにその意識は芽生え始めていると感じた」（荒木指導主事）

海外の友達増やしたい

「毎日のように思い出している」「SNSでやりとりを続けている」「将来、モンタナに戻りたい」と話す生徒たち。さまざまな経験を得て自分の生き方や将来への夢をじっくり考える機会を得たようだ。

「研修中に出た課題で、モンタナの人たちの食文化についてインタビューできたのが楽しかった。英語で話す自信がつきました」（田上裕貴くん）、「高3が最後のチャンスだったので参加できるよう準備を頑張りました」（伊藤匡秀くん）、「海外から日本を見ることで、日本の課題や日本人のいいところ、悪いところを見ることができた」（上妻直樹くん）、「海外留学をしたいと話したら先生にこのプログラムを進められて参加しました」（磯野優花さん）

「海外という新しい世界に興味があって参加しました。正直、英語は得意ではないけれど一緒に遊んだり、同じものを見たりする中で交流できた」（中村星凜さん）。この経験を経て、グローバル社会で活躍する将来像をつかんだのではないだろうか。

州立モンタナ大学での研修風景

モンタナ研修を振り返る高校生たち。「将来の自分に何らかの影響があると思う」との意見で一致した

2016年度 公開テストのお知らせ

TOEFL IBT®に直結する唯一のテスト

TOEFL Junior® COMPREHENSIVE　4技能

第２回検定日　2016年10月30日（日）
申込期間　2016年8月2日（火）正午～9月30日（金）
受験料　9,500円（税込）
試験会場　各都道府県会場

世界基準で「読む力」「聞く力」を測定

TOEFL Junior® STANDARD　2技能

第２回検定日　2016年12月11日（日）
申込期間　2016年9月23日（金）正午～11月1日（火）
受験料　4,320円（税込）
試験会場　全国16会場

※2016年9月～2017年2月まで、東京、大阪では留学希望者向けテスト会を実施します。
詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

世界にはばたく「はじめの一歩」として

TOEFL Primary®　2技能

第２回検定日　2016年12月11日（日）
申込期間　2016年9月23日（金）正午～11月1日（火）
受験料　3,880円（税込）
試験会場　全国16会場

公開テストおよび学校・団体テストのお申し込みの詳細は、下記公式ホームページをご覧ください。

お問い合わせは
GC&T
グローバル・コミュニケーション&テスティング
〒108-0074 東京都港区高輪4-10-8 京急第1ビル 13F
TEL 03-6836-0125（平日9:30～17:30）
E-mail info@gc-t.jp
Check! http://gc-t.jp/ トフルジュニア 検索

The TOEFL® Family of Assessments

Trusted information to help you make more confident decisions based on students' English proficiency.

TOEFL テストを開発・運営する ETS は、英語教育に携わる教職員・講師の皆様が日々、生徒・学生の将来を見据えた様々な取り組みをされていることを理解しています。そして、生徒・学生たちの可能性を最大限拡大できるよう支援いたします。

生徒・学生の習熟度に合わせて、下記 TOEFL テストシリーズを活用いただくことにより、的確かつ総合的な情報を得ながら指導をすることが可能です。

TOEFL iBT® • TOEFL ITP® • TOEFL Junior® • TOEFL® Primary™ Tests

TOEFL テストシリーズの詳細については http://www.ets.org/toefl_family をご覧ください。

Copyright © 2015 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo, TOEFL, TOEFL IBT, TOEFL ITP and TOEFL JUNIOR are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS) in the United States and other countries. TOEFL PRIMARY is a trademark of ETS. 29861

ETS TOEFL

Quality Beyond Measure.